

OAフロア ウッドコア3000N GFW-3

Raised Floor Wood Core 3000N GFW-3



登録番号

SuMPO-EPD-2512-50-1

検証合格日

2025/12/18

公開日

2026/1/6

検証有効期間

2030/12/17

EPDタイプ

グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

Environmental Product Declaration for Raised Floor Wood Core 3000N GFW-3

●基本情報

>プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

>GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	二重床
PCR登録番号	PA-242159-AG-07
PCR認定日	2023年5月10日
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健（一般社団法人サステナブル経営推進機構）
PCR有効期限	2028年5月9日
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

>検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	小関康雄（小関環境事務所）		

>準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	アイリスオーヤマ株式会社 BtoB事業グループ 建装事業部
住所	東京都大田区南蒲田 2 丁目16-1 テクノポートカマタセンタービル4F
問い合わせ先	022-253-7095
LCA算定実施者（所属）	仲村元樹（株式会社ゼロック）
事業者概要	売上高：（グループ）7,760億円（単体）2,315億円（2024年12月期） 本社所在地：〒980-8510 宮城県仙台市青葉区五橋2-12-1 生活用品の企画・製造・販売を主業務とし、法人向けLED照明や業務用家具、家電、ペット用品、園芸用品など幅広く展開。国内外に生産・物流ネットワークを持ち、埼玉、大連（中国）などに複数の製造拠点を有する。

●製品情報

製品名称		OAフロア ウッドコア3000N GFW-3	
製品の型式		ノーマルパネル：GFW-3N、開口パネル：GFW-3K	
製品仕様	製品機能	床下の空間確保、配線の露出防止、電源・通信・LAN配線など収納機能の提供。	
	製品質量	18.9kg/m2	換算係数 -
	製品の用途	オフィスなどの一般事務所において、床仕上げを支持しつつ、配線等を床下空間に収納するための二重床として使用。	
	技術性能	フリーアクセスフロア工業会「フリーアクセスフロアの性能評価2022.03」に規定される耐荷重性（3000N）、耐衝撃性等を備える	
耐用年数	年数	50年	
	使用条件	商品カタログに準ずる	
	年数を設定した根拠	鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数と同等とし、耐久年数や保証期間を指すものではない。出典：国税庁,"主な減価償却資産の耐用年数表"<2022年>	
製造サイト（製造拠点）		中国(大連)工場	
製品概要		<p>パネル種類・品番：ノーマルパネル GFW-3N / 開口パネル GFW-3K （ノーマルパネル3枚と開口パネル1枚で1m2）</p> <p>製品寸法：50mm×50mm×17mm 支柱高さ：50mm ～ 250mm 耐荷重：3000N(300kgf) 変形量5mm 以下</p>	
製品ウェブサイト		https://www.irisohyama.co.jp/b2b/kensou/products/oa-floor/wood-core/	

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
溶融亜鉛メッキ鋼板（パネル部）	27%	4.8	kg
パーティクルボード（パネル部）	59%	10.6	kg
接着剤（パネル部）	3.4%	0.6	kg
スチール（支持脚）	7.4%	1.3	kg
その他	3.2%	0.6	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
段ボール	12%	0.1	kg
木パレット	85%	0.9	kg
プラスチック製包装資材	3.6%	0.04	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

●LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト	<input type="checkbox"/> 複数サイト	
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値 <input type="checkbox"/> 上限値
地理的範囲		グローバル		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		PCR 6-8【支持脚の高さが異なる製品の取扱い】より本製品は同一製品のパネルに対し、異なる高さ（長さ）の支持脚が使用されるため、対象とする支持脚の年間生産本数による加重平均値を用いて算定している。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		本製品の同一仕様のパネルに対して、支持脚・補助脚の高さには50～250mmの幅が存在する。異なる長さの支持脚・補助脚では、原材料である溶融亜鉛めっき鋼板の使用量のみが異なるが、高さが異なるときの資材製造段階のLCIA合計結果は平均値に対して90～110%の間に収まる。		
複数製品EPDの説明		同一製品のパネルに対し、異なる高さ（長さ）の支持脚・補助脚が使用できる。		

> LCA関連情報

宣言単位	1m2		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	18.4kg/m2		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-		
システム境界	<input type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA for EPD Ver3.2.0.0		
LCIデータベース	IDEAv3.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点	大連工場		
一次データ収集期間	2022年1月～12月の1年間のデータ		
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連						
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益
■	■	■	■	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■：算定対象 -：算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。
当該製品の製造工場では、当該製品以外の物理的特性の異なる多様な製品を製造しており、プロセスの細分化によるアロケーションの回避及び、物理量アロケーションが困難であったため、当該製品及び共製品の出荷金額による経済価値アロケーションを実施した。

> カットオフ

本EPDではカットオフは行っていない。

> システム境界

GPI及びPCRに基づき、対象のライフサイクル段階は資材製造段階（モジュール：【A1】原材料の調達、【A2】工場への輸送、【A3】生産、【A4】施工現場への輸送）とした。時間的システム境界は100年である。

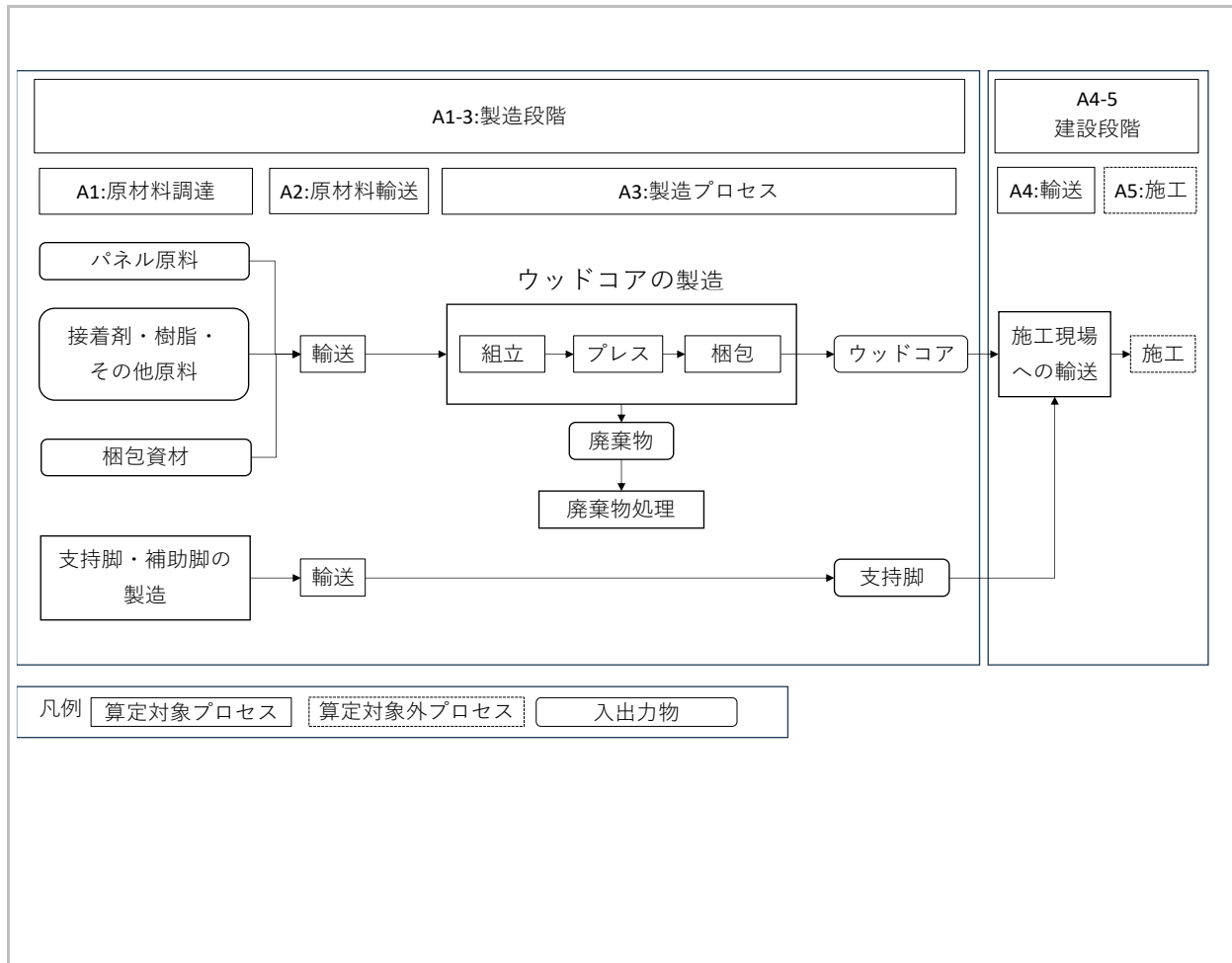
> シナリオ

モジュール	説明
A2、A3、A4	一次データの収集が困難な原材料・廃棄物の輸送プロセスについては、輸送距離及び輸送手段・積載率について、PCRのB1. 輸送距離、B2. 輸送手段および積載率シナリオを基に設定した。

> 電力モデリング

大連工場（中国）の生産プロセスについては、IDEAv3.1「公共電力, 中華人民共和国, IEA, 2015」のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造	【A4】施工現場への輸送		D 境界外
気候変動	kg-CO ₂ eq	2.79E+01	1.95E+00	3.66E+00	5.27E+00	-	-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	4.18E-06	2.56E-11	4.32E-07	6.79E-11	-	-
酸性化	kg-SO ₂ eq	2.06E-02	5.78E-03	3.58E-02	1.43E-02	-	-
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	1.37E-02	2.17E-03	2.75E-02	5.38E-03	-	-
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	6.39E-04	1.27E-05	6.31E-06	3.22E-05	-	-
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	1.56E-02	9.67E-06	2.49E-04	2.61E-05	-	-
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.72E-04	6.31E-06	2.42E-06	1.71E-05	-	-
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	2.28E-01	2.95E-07	5.08E-04	7.69E-07	-	-
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.83E+00	5.00E-06	6.35E-03	1.33E-05	-	-
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	4.87E-03	2.00E-11	2.83E-07	5.39E-11	-	-
土地利用(維持)	m ² /年	1.95E+01	1.46E-01	1.86E-02	3.58E-01	-	-
土地利用(改変)	m ² /年	7.38E-03	2.91E-03	4.88E-04	7.16E-03	-	-
資源消費	kg-Sbeq	2.18E-03	8.13E-06	9.18E-06	2.20E-05	-	-

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造	【A4】施工現場への輸送		D 境界外
非再生可能資源	kg	9.86E+00	1.91E-06	6.33E-02	5.08E-06	-	-
非再生可能エネルギー	kg	1.21E+01	5.96E-01	1.55E+00	1.62E+00	-	-
非再生可能エネルギー	MJ	4.43E+02	2.67E+01	4.58E+01	7.25E+01	-	-
再生可能資源	kg	1.41E+01	4.86E-07	3.85E-03	1.29E-06	-	-
再生可能エネルギー	MJ	2.99E+01	6.61E-04	8.53E+00	1.76E-03	-	-
淡水の消費	m ³	1.81E+01	3.89E-05	7.14E-04	1.03E-04	-	-
排出, CO ₂ (化石資源由来), 大気, 不特定	kg	2.58E+01	1.87E+00	3.33E+00	5.05E+00	-	-
資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	2.79E+00	5.86E-01	6.48E-02	1.59E+00	-	-
排出, 揮発性有機化合物, 大気, 不特定	kg	5.82E-07	1.50E-14	1.03E-09	4.00E-14	-	-

> 廃棄物関連情報

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造	【A4】施工現場への輸送		D 境界外
有害廃棄物	kg	0.0.E+00	0.0.E+00	5.0.E-03	0.0.E+00	-	-
無害廃棄物	kg	1.60E-01	1.65E-08	2.26E-01	4.40E-08	-	-
一般廃棄物 埋立物	kg	8.21E-09	2.68E-17	1.78E-13	7.18E-17	-	-
産業廃棄物 埋立物	kg	1.60E-01	1.65E-08	2.26E-01	4.40E-08	-	-

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		【A1】原材料調達	【A2】輸送	【A3】製造	【A4】施工現場への輸送		D 境界外
再利用可能な部品	kg	-	-	-	-	-	-
リサイクル用材料	kg	-	-	-	-	-	-
エネルギー回収用材料	kg	-	-	-	-	-	-
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 ≥ 60%)	MJ	-	-	-	-	-	-
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率 < 60%)	廃棄物焼却処分量	kg	-	-	-	-	-
	回収エネルギー	MJ	-	-	-	-	-
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により発生する埋立ガスからのエネルギー回収)	廃棄物埋立処分量	kg	-	-	-	-	-
	回収エネルギー	MJ	-	-	-	-	-

> LCA算定結果に関する説明

・支持脚・補助脚の製造プロセスは二次データを用いて算定している。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

・ISO 14001:2015 認証取得工場にて製造

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
-	-	-
-	-	-
-	-	-

建材および建設製品からの危険物質の放出

-

●用語の定義

-

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO 21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products